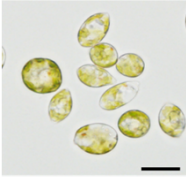
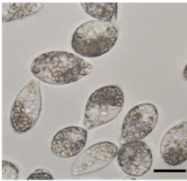
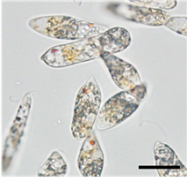


題名	カロテノイドは暗所下におけるユーグレナの細胞増殖にも関与する
学会名	ユーグレナ研究会 第36回研究集会（2021年10月30日[土]、帝京大学宇都宮キャンパス、オンライン）
発表者	○腰塚 悠貴※, 玉木 峻 (*), 丸山 岳之※, 宇塚 友哉※, 菊池 彪太※, 宮本 皓司, 篠村 知子 発表者【○】、本学教員、研究員および技術職員は【アンダーライン】、大学院生、卒研生または卒業生は【※】 (*) 現在、理研・BZP
概要	2021年10月に行われた上記研究会において、大学院生の腰塚悠貴さんが上記演題を発表しました。微細藻類の一種であるユーグレナ (<i>Euglena gracilis</i>) のカロテノイドは、光照射下で細胞増殖の促進に機能しているが、暗所下でも細胞増殖に関与するかどうかは明らかではありませんでした。そこで、カロテノイド合成阻害剤ノルフルラゾン処理したユーグレナ、カロテノイドを欠損した白色細胞株 (<i>c14</i> 株)、葉緑体を欠損したSM-ZK株を用いて、様々な温度や光強度の条件下におけるカロテノイドとクロロフィルの蓄積量、および細胞増殖特性を調べました。その結果、ユーグレナのカロテノイドは、暗所でも、細胞増殖に関与することが強く示唆されました。発表はオンラインの口頭発表であり、発表に対する質問が寄せられ、活発な討論が行われました。
関連画像	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;"> <p>WT</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><i>c14</i> 株 (カロテノイドを欠損)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>SM-ZK株 (葉緑体を欠損)</p>  </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">Bar: 20 μm</p> <p style="margin-top: 10px;">研究に用いたさまざまなユーグレナ株</p>